

# 武相エコノミスト

第4号 BUSO ECONOMIST

2015.7.1 *fourth issue*



2015夏

町田・相模原経済同友会 代表幹事新旧対談

株式会社 オーディオテクニカ  
代表取締役社長

株式会社 三和  
代表取締役

松下 和雄 × 小山 克己

臨時例会

甘利 明 経済再生大臣 交流会

AREA TOPICS  
久保田酒造



# 10周年を迎えた町田・相模原経済同友会。 次の10年に向けた 新リーダーへの期待とは。

株式会社 オーディオテクニカ  
代表取締役社長

株式会社 三和 代表取締役

## 松下 和雄 × 小山 克巳

2期4年に亘り、町田・相模原経済同友会をリードし、組織としての厚みを持たせてくれた小山代表幹事。

そして新たなリーダーは世界をマーケットに

最先端技術を武器にトップを走るオーディオテクニカの松下社長。

町田・相模原が誇る2人のエコノミストが同友会を語る。



「グローバル化などの  
新しい切口を期待したい」

小山 克巳

株式会社 三和 代表取締役

町田市生まれ。昭和40年に町田市中町にスーパー三和一号店をオープン。以来、町田を中心にスーパーマーケットを69店舗展開する

**司会** まず、小山社長にこの4年間を振り返っていただきたいと思っています。

**小山** そうですね、同友会は経済活動をされている方々の集まりですから、当然、経済活動を中心とした目的をどう達成できるかだと考えています。代表幹事に指名された当時は本当に私で良いのかなと思いました。同友会に初めから期待して入られた方、なんとなく入った方、様々ですが、「会にどう興味を持っていたか」が、リーダーシップを取る時の一番大事なことだと経営者の端くれとして思っておりました。会社ですと「公平」という考え方ですが、同友会では「平等」です。異業種企業の経営者の方々ですから、当然、考えていることも違いますし、その中で、どのように会に関わって活動し

ていただいたら良いのか、またどのようにしたら理解していただけるかなど難しいと感じました。また、地域の経済界の集まりですから、経済に関係した現象面だけ捉えるより、世の中の流れ、経済の動向などを踏まえて、少しでも参考になる講演等を企画していくのが一番良いのかなと思いついて参りました。しかし反省点は数々ありますね。

**司会** 本当にお忙しい中で、いろいろと大変だったんですね。

**小山** 松下さんになられたら全然違うかと思いますが。普段の仕事の内容の違いが出てきて、会の運営に魅力が加わると思います。

**司会** この4年間、震災や政権交代など、社会の流れが大きく変わった時期で

もありました。

震災のあと例会を、少し形を変えてディスカッション形式にされたりしたそうですが。

**小山** そうですね。震災については具体的に、意見を出し合うことも良いんじゃないかと、地元でリーダーシップを取られている議員の先生方にもお集まりいただき意見交換をしましたね。地元企業の方々からすれば、自分達に関わることも出てきますし、町を良くするとか、市民のために何かお役に立つのではとそんな考えも芽生えてきたと思っています。また、会が成熟するにつれ委員会が少しずつ確立されて、そこで生まれる結果や効果がかなり大きかったという感じが致します。井上さんは最初の口火を切ったわけですから何も分らない、見えない中でやられて大変だったと思うんです。私はその後で、少し形がほんやりとでも見えている中でしたので、井上さんとはまた違う立場だったんですが、会の厚みが少し出たのでは、と思います。

**司会** 立ち上げの時期から、成熟に向けた第一歩がホップ、そしてこの4年間がステップだったかもしれませんね。

**小山** そうですね。まあ、そんなことで、紆余曲折をしながらでも少し、1歩、2歩前進して、また1歩下がっちゃったりしたと思います。

**司会** ホップ、ステップで、今度はジャンプという期待を背負って松下社長になるわ

けですが、代表幹事を引き受けたいきさつやこれからの話をお願いいたします。

**松下** 最初は井上会長と山之口会長のお2人が中心になって運営をされ、そして会が軌道に乗り始め、小山社長に引き継がれました。最初のお2人は基礎作り、小山社長は会の組織化をしていたと思うんです。そのポリシーが、公平・公正という視点での運営であったことは会員の方も非常に感謝していると思いますし、4年に亘って大変忙しい中、会のために尽くしていただいたことは会員全員が感謝しています。そういう立派なリーダーシップの下で進められてきたので、私、これからどうすれば良いのかなと非常に困っているんですけど…。

**司会** いつ頃から打診があったんですか？

**小山** 総合判断や纏まりという部分で捉えた時に、松下さんだなということになったんだと思っています。

**司会** お仕事もお忙しいと思いますし、快くすんなりお引き受けいただけただけですか。

**松下** 私の場合は、だいたい毎月1回、海外出張がありまして。ですから、どうしても、年間に何回か出られない定例会も出てきますし、他の地域の方や行政の方とお会いしなきゃいけないことも多々あるので、全部に出席が出来ないことは大変心苦しいので、ちょっと引き受けかねるというお話はしたんですが、他の副代表幹事の方が、その時はバックアップすると

言ってくださりお引き受けすることになりました。伝統あるこの町田、相模原の経済や文化がどう発展していくのかと、そのお手伝いが出来れば私としては非常に嬉しいわけですけど、同時に、その中で会のために私がどんな貢献が出来るのかと今、自問自答しています。私1人で出来ることでは当然ありませんので、ぜひ会員の皆さんに力を貸していただいて、重責を全うしたいと考えています。

**司会** ちょうど、10周年という節目で代わられて、何かやってみたいことはありますか？

**松下** 10周年そのものの祭としては、何か記念の行事を考えなきゃいけないというところで、会員の皆さんも含めて、アイデアを出し合って、今までとちょっと違う試

みをしたいなと計画はしていますけれども、内容についてはこれから検討していくという段階です。

**司会** 小山社長から期待されることはありますか？

**小山** 松下さんが、ご自分の事業としてやられているノウハウがあると思います。そういうものを、我々にご教示いただきたいということはもちろんです。今までも講演されていらつしやいますが、もっと、核心の部分が絶対あるはずだと思います。

**司会** なるほど。皆さんには明かしていない、本当の部分ですね。

**小山** なかなか、人には言えないこともいっぱいあると思うんです。我々が聞いても、松下さんの本業の技術的なこととか



「第4次産業革命と言われる時代を  
どう捉えていくか」。

松下 和雄

株式会社オーディオテクニカ  
代表取締役社長

父であり創業者の松下秀雄氏の後を継ぎ、1993年より代表取締役社長。世界をマーケットにオーディオ業界の最先端で業績を伸ばす



は分からないですよ。そうではなくて、経営は、いろいろ複合されたものをトータルでどう活かすか、その、活かしていくものは我々と違うものが必ずあるはずなんです。そういう部分を会を通じて我々にご教示していただきたいと思いますけどね。これからの日本は、少子高齢化でど

んどん人口が減って国が変化していく中、戦後70年でここまで変化進化してきたのが、我々の企業活動も変わった方向に行くと思います。その、変わった方向に行く時に、誰も、手探りでずから分からない。どれが正解かというのが全然見えないう中で、何を参考に、何を旗印に行くかという時、海外でいろいろと活躍されている経験から我々が歩むべき道の一端は、松下さんの会社は先に動いていますから、そういう部分でも個人的に期待したいと思います。

**司会** そう思っている方はきっと多いですよね。

**小山** こう言っては失礼ですが、松下さんは決して派手ではないですが、中に秘めたものは相当深い方なので、そこを期待しています。

**松下** まあ、そんなに力があるわけでも、能力があるわけでもないんで、どんなことが出来るか良く分かりませんけれど。**司会** 時代の要請と言うんでしょうか、タ

**松下** そうですね。町田・相模原の企業さんは、どちらかと言うと地域密着型の方が多いので、突然、グローバル化というテーマを出しても実感が湧かない方が多いと思うんです。その前に、これからは人口知能ですとか、IoTと言うんですか、インターネットオブシングス。それから、ビッグデータ、そういったITがますます発展するので、その時代に企業がどう対応していくかということの方が、皆さんには取っ付きやすいのかなという気はします。第4次産業革命の時代とも言われていますので、これは高齢化、少子化の時代にも同時に役に立つ技術だと思っていますので、その辺を同友会としても、どうい

うテーマで挑戦していけば良いのかということも、これからのテーマになるだろうと思っています。

**司会** 楽しみです。

**小山** 絶対あるはずですよ。先日、甘利大臣をお呼びした席でやっぱり、TPPの責任者ですよ。TPPがどういう妥結をするか分かりませんが、裾野がものすごく広い交渉ですから、TPPが起爆剤になって、おそらく日本も変わっていくかざるを得ないし、また、変わっていくと思います。その時に、松下さんが先を走っていらっしゃるから、そういう所で、これはこう判断をしたほうが良いんじゃないかと、いろいろな経験や、ご自分の本業を切



り口にしてご指導をいただきたいと思えます。それを聞いて自分の所に置き換えた時に、絶対、参考にする物はあるはずです。期待しています。**司会** メーカーで、しかも世界をマーケットにされていらっしゃるんで、そういったことを学びたい方は多いでしょうね。殆どの方は地域で、ドメスティック展開されていますから。



#### 終わりに

先日、野村証券の方をお呼びした際、グローバル化の話の中で出た「頭脳の流動化」という言葉はとてもインパクトがありました。松下社長がおっしゃるように、少子高齢化を埋めるために、何かの活力で、それは人なのか、ビッグデータなのか人工知能か分かりませんが補っていかねければいけないわけですから、会員がアレルギーを起こさない範囲でソフトウェアングして我々を慣らしていくていただきたいですね。期待しています。

(広報担当 澤井)

## 臨時例会

EXTRAORDINARY MEETING

2015  
5/9  
土曜日

### ホテルラポール千寿閣

甘利明経済再生大臣、義家弘介衆議院議員、小倉將信衆議院議員を囲んで臨時例会が行われました。環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)交渉が佳境を迎える中で甘利大臣には様々な質疑が繰り広げられました。

### ―アベノミクスについて

事実関係で言えば、安倍内閣は赤字国債の発行額を圧倒的に減らしています。民主党政権時、3年連続で税収より赤字国債の発行額を増やしたという日本史上初の異常事態がありました。予算を執行するのに税収が半分以上で半分以上を借金で賄う、それが3年続きました。安倍内閣では初年度で赤字国債を税収以下に減らし、3年目に赤字国債を36兆9千億まで減らしました。また、景気を良くするためにいろいろとばら撒いていると宣揚されていますが、そうではないんです。財政再建もやりながら景気を良くしていく。なぜ出来るかと言うと、景気を良くしたから税収が圧倒的に増えている事実があります。民主党政

権時、2010年を基準に2015年、2020年と財政再建目標を掲げました。消費税を8%、10%と引き上げ、2015年の目標を達成する予定でしたが、消費税の2回目の引き上げは延期。普通なら目標は達成できないはずですが、それにも関わらず達成が出来ました。2020年の目標は更に厳しく、プライマリバランスを均衡させること。プライマリバランスは今年の政策支出は今年の税収で賄うことですが、それを目指して設計図を書くのが私の役目です。経済財政に関わる設計も今までは違うやり方で、例えば公共サービスを産業化して、税が増えるようにする特殊な手法や、保険適用の外側の健康増進産業を振興したり、医療機関の頻回受診、重複受診を意識改革と情報化で減らしていくなど。医療

のレセプトデータは全部電子化されていますし、カルテの電子化も進んでいます。そこにマインバーを使うと、患者さんの投薬歴や治療経緯が全部見えてきます。ベストプラクティス、つまり一番治りやすい方法が見えてくるので、それを活用すれば一番良い治療法が得られ、薬や治療法の開発も進みます。電子化とマインバーを通じて合理的に無駄が無くなるようにする。それが、我々の取る最終的な財政削減治療です。

### ―TPPについて

TPPが今までの経済連携と何が違うかと言うと、カバレッジが極めて広いこと、野心レベルというか改善レベルが最高に高いということです。基本的には、物品の関税は基本はゼロにすることが目標です。ただし、この国もこれだけ対応出来ないというのがあります。日本では農産品の5品目。アメリカにもよその国にもそういう事情があります。物品の関税を引き下げる、あるいはゼロにするという交渉ばかりが目立ちますが、実はこれだけではありません。例えば投資をした場合、その投資が不当にその国の政府の力によって没収されたとか、妨害を受けた時、その不当を排除出来る法を作る。また、チェーン展開をする場合、1店目は出店出来るけど2店目以降は審査が厳しく妨害されるという状況が途上国なんかではよくありますが、それについてもきちんとルール化する。特許に違反したら政府が責任を持って摘発をする。そもそも、特許の期間さえ共通ではない状況です。そして12力国の中でサプライチェーンが完結するよう、つまり、12力国の中でいろいろなものを調達して製品を作った時には税金が軽減され、よその国から持ってきた場合にはその適応を

### ―憲法改正、集団的自衛権について

世界中で憲法を1回も変えていないのは日本だけです。ドイツは約60回、フランスもアメリカもイギリスも、ありとあらゆる国が憲法を時代に沿って変えています。日本憲法って、日本人が作ってない。進駐軍が作ったんです。自分の国の憲法をよその国の人が作るって、ありますか？しかも、進駐軍が作ったものを日本語訳しているから、良く分からない部分もある。更に70年前に作られた訳ですから、今の時代を想定していないことがいっぱいあります。例えば、緊急事態に対応出来ません。緊急事態になった時、どこの国も政府なり大統領が権限を集中させて、事態に対応します。世界中の国が、世の中の変化に応じて国の骨格を変えて来ているんです。日本だけが70年前の仕組みのまま。国は最大の危機に標準を合わせて、国の運営をやるべきものです。そして、集団的自衛権は国連憲章で認められている権利です。中国はもちろん、韓国も使います。自分は使うけど、日本が使ったと駄目と言われているおかしい状態です。更に日本の場合、放っておいたら重大なことになるという時にのみ使うという、限定的行使なんです。





久保田酒造 ■ 神奈川県相模原市緑区根小屋702 ■ 042-784-0045 ■ (売店)10:00 ~ 17:00 無休

## 津久井の豊かな大自然に抱かれた 老舗蔵元『久保田酒造』

1844年(弘化元年)創業、170年の歴史を誇る久保田酒造は、深い碧の山々を背後に重厚な佇まいが印象的な蔵元だ。この業界では珍しく若い杜氏と蔵人が丹沢山系の湧水を使った酒造りを行っているが、長い歴史の中で今、新たな時代が始まるうとしていた。

ルを添加しない純米酒。使用している米は兵庫産の山田錦、長野産の美山錦、岡山産の雄町。吟醸、大吟醸の割合が多いのも特徴だ。

将来的には相模原の米を使った酒造りにも挑みたいという。地元とのコラボにも積極的に、城山の梅を用いた梅酒造りや、地元の大学とのコラボ商品造りも行う。日本酒ブームもあり、国内のみならず海外からも注文が入ることも増えているが、まだまだ発展途上だと自己評価する。目指すは『米の旨味を大切に』『甘味と酸味のバランスの取れたキレの良い食中酒を造ること』だという。若い杜氏が抱く志は、伝統を持つ蔵元の新しい時代を確かに刻んでいた。

そんな久保田酒造で造っているのは、手間が通常の倍以上かかる昔ながらの手作業による特定名称酒だ。全国の造り酒屋で作る酒量平均1000石から考えると、酒量は350石という少量生産ではあるが、その分、自社銘柄『相模灘』の味を高めることに全力を注いでいる。

商品のラインナップは定番商品の7種類と、冬に槽場から直接瓶詰めされ限定販売される生酒7種類。そのうち85%が醸造アルコール



<http://www.tsukui.ne.jp/kubota/>

### 編集後記

from editors

高水準で推移する株価、東京都心における地価の上昇等、経済も一部はよい傾向にありますが、消費者動向はいまだ盛り上がりには欠けている感が否めません。一方全国各地での火山活動の活発化、異常気象の常態化、ギリシャ、ブルトリコのデフォルト等、企業には更に危機管理の必要性が高まっています。日本大学では来年度から危機管理学部ができるとか。

さて、『武相エコノミスト』もリニューアルから第4号の発行となりました。前号までも多くの方にお褒めいただき、広報委員として大変うれしく思います。

今後は町田・相模原経済同友会の情報発信の核となるよう委員一丸となって頑張っ  
て参ります。会員の皆さんも情報提供のご  
協力をお願い申し上げます。

広報委員長 鈴木正彦

## MONTHLY MEETING 例会 報告 February-June 2015

第70回  
例会 2015 3/12 木曜日

「グローバル化する世界」～新たな時代にチャンスをつかむ日本～  
講師:池上 浩一 氏 野村ホールディングス株コーポレート・シティズンシップ推進室  
シニア・コミュニケーションズ・オフィサー/名古屋大学客員教授

ホテル ラポール千寿閣

グローバル化し、フラット化していく世界で、今後日本はどうチャンスを掴んで進んでいけばいいのか、経済のスペシャリストによる興味深い講演でした。



2015年度  
総会 2015 5/14 木曜日

「第8回 町田・相模原経済同友会 総会」

ホテル ラポール千寿閣

代表幹事に㈱オーティオテクニカの松下和雄氏、副代表幹事に学町田デザイン専門学校  
の井上博行氏が選出され、新たに相談役となる  
㈱三和の小山克己氏に感謝状が贈られました。



第72回  
例会 2015 6/18 木曜日

「会員相互の理解・交流を深める企画」

ホテル ラポール千寿閣

㈱シモンの松崎護氏は「しあわせ色のストーリー」と題して家族の軌跡をアルバムに残す感動の物語を、萩生田富司喜氏は役立つ「税務よもやま話」を楽しく解りやすくお話しいただきました。



## 武相エコノミスト 第4号

2015年7月1日発行

発行 町田・相模原経済同友会  
〒194-0022 東京都町田市森野1-25-17 ワールドウィング内2F  
TEL/FAX: 042-726-3577

制作 株式会社VisionDesign  
表紙撮影 松田康司

※本紙掲載の写真、記事、ロゴの無断転載、および複写を禁じます

町田・相模原経済同友会入会のお申込み・お問合せは  
TEL 042-726-3577  
<http://www.ms-doyukai.jp/>



# 2016年から、 債券や公社債投信の 税制が変わります。

☒ ひとつでも当てはまる方は、影響があるかもしれません！

- ☐ 外債、社債、国債、外貨建MMFを持っている。
- ☐ 複数の金融機関に特定口座を開設している。
- ☐ 毎年の確定申告を負担に感じている。

この変化が、  
お客様の資産運用にどんな影響をもたらすか。  
その日までにどんな準備をしておくべきか。  
SMBC日興証券は、お客様といっしょに考えます。



## SMBC日興証券 町田支店

東京都町田市中町1-2-4(小田急線町田駅北口)  
TEL. 042-726-2525



■SMBC日興証券株式会社がご紹介する商品等への投資には商品ごとに所定の手数料や諸経費等をお客様にご負担いただく場合があります。■ご紹介する商品等には、株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の価格の変動等及び発行者の信用状況の悪化等それらに関する外部評価の変化等により元本損失が生ずる恐れがあります。■手数料およびリスクは商品ごとに異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面や目論見書またはお客様向け資料をよくお読みください。■また、将来の予測またはその結果を保証するものではありません。■実際に投資される場合の最終決定はご自身の判断で行っていただくようお願い致します。

商号等：SMBC日興証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2251号 加入協会：日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

いっしょに、明日のこと。  
Share the Future

 SMBC日興証券